

イノベーション学習プログラム ISPの開発

教務主事補
一般科 教授 柴田 洋一

いま、日本の産業は大きな変革期を迎えています。新しい産業を創り出す必要があるのです。あらゆる分野でこうした革新＝イノベーションが求められています。これを受けて、現在、大学・高専では、イノベティブな発想力を持った人材の育成が始まりつつあります。本校でも、新たな教育プログラム「イノベーション学習プログラム Innovation Study Program（略称ISP）」の開発を行うこととなりました。このプログラムの中心は、課題発見力、創造能力や全体的デザイン力など柔軟な新しい発想力を育てることにあります。

さらに、現実社会の複雑で多岐にわたる課題を解決するには、多様な分野の人々と協働する必要があるため、柔軟なコミュニケーション力を養うことも重要となります。もちろん、従来の専門基礎知識や論理的思考能力はすべての基礎であり、プロフェッショナルの必須条件です。体系的基礎教育とISPのスパイラルによりイノベティブな人材を育成する、これがカリキュラムの目的です。今年度、高専機構からの予算によって、豊かな企業経験・教育経験をお持ちの3名の教育コーディネータを迎えることができました。

現在、教育コーディネータと共に基礎的な研究を始

めています。平成29年度頃を目安に学校のプログラムとして完成させたいと考えています。この計画は多くの方々のご協力が必要です。ぜひ皆様のお力添えを賜りましょう、お願い申し上げます。

コーディネーター紹介

教育コーディネーター 田野 賢司

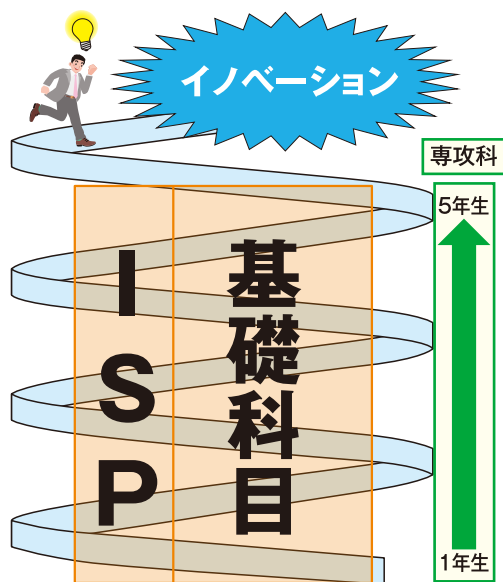
教育コーディネーターの田野賢司です。民間企業出身の教育コーディネーターとして、この3年間キャリア教育や地域連携協力会立上げのお手伝いをしてきました。今回はイノベーション学習のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

教育コーディネーター 中嶋 俊一

私の専門は機械工学で民間会社勤務の後、関東職業能力開発大学校で25年間学生のものづくり教育を実践してきました。このたび小山高専の教育コーディネーターとして9月から勤務しております。どうぞよろしくお願いいたします。

教育コーディネーター 藤田 秀樹

11月11日付で教育コーディネーターに採用された藤田です。今回のご縁は、既に関東職業能力開発大学校での開発課題及び宇都宮大学での経験を生かし小山高専のPBL教育発展のために、協力をさせて頂きたいと考えた所以です。今後ともよろしくお願いいたします。



小山高専名称等の表記の統一

平成26年5月から小山高専の名称について日本語及び英語による表記の統一を行い、順次対応します。

- 日本語による表記
独立行政法人国立高等専門学校機構
小山工業高等専門学校
- 英文による表記
National Institute of Technology,
Oyama College
(略称表記：NIT, Oyama College)